

能なればなり。即ち最近米國の軍備擴大案、對日武器の禁輸案、フィリッピンの増強、太平洋の實力増強等は對日本準備なり。實際上日本は若し香港、九龍を占領せば日米戦争は直に勃發せらるゝなり。

日本各新聞は佛國を例として中國の屈服を要求せるは實に荒唐極る謬論にして中國は敢へて之を一笑に附すのみ。

佛國は資本主義國家にして重工業は國民經濟の心臓なり。然るに其の心臓部たる佛北部は利邊に占領せられたるを以て當然佛は維持する事不可能となり敗戦を餘儀無くせられたり。又佛本國は狭小にして僅か中國の二省の面積に過ぎず、多く平原なるを以て死守不可能なり。然し中國は農を以て國を肇め所有經濟の心臓は悉く農にあり故に心臓が存在する以上抗戦力強大なり。且つ中國々内は峻險なる山嶽地帯を有し敵をして深入せしむる能はざるなり。故に中國は經濟上、地理上より見て屈服の理由無かりき。又中國は政府を重慶に移轉してより奥地の經濟建設に邁進し軍隊の規律一絲亂れず國家復興の氣象を呈せり。尙米國夙に和平を夢し中國の奮闘に同情したる事は實に正義の大國なり。今後米國の對日制裁は愈々積極的化しつゝあり而して英國も極東唯一の良港香港を放棄せざる事は極東に難からず。故に日本は香港九龍を奪取する事は不可能なり。

外國宣傳情報第三號

內閣情報部七・三 (延着)

湖南・貴州兩電台北京語放送(六月二十五日) (支那派遣軍報道部報告)

敵人佛印侵略の妄想

德兼君！四月八日獨逸の北歐戰開始以來白耳義、和蘭の中立は危機に瀕せり。日本は太平洋上に於て漁夫の利を占めんと欲し四月十四日有田日外相は蘭領東印度に對し切實なる宣言を發表すると共に日本國內各紙は若し和蘭が歐洲大戰に捲込まるとに至らば日本は蘭領印度を保護す可しと主張せり。此等は日本の太平洋に於ける侵略の先觸れにして他方之に對する米國の反響を察知せんさせざるなり。四月十七日ル米國々務卿は蘭領東印度に關心を有し第三國の蘭印保護を否認する意向を發表し更に艦隊を派遣して太平洋の防備を嚴にせる結果敵人の妄想は遂に失敗に歸したり。五月十七日和蘭、白耳義は獨逸の侵略を蒙り滅亡せるも敵人の妄想は遂に南呵の夢と化し有田外相の言論は敵軍閥の野心を暴露したるに過ぎざるに至れり。最近英佛は大敗し佛國は和を請ふに至り極東の利益を顧みる餘裕無きに及び日本は此の機會に乗じ兩國の極東に於ける權益を窺ふに至れり。例へば天津英租界の封鎖問題及現銀問題は久しく日英間の懸案として未解決状態にありたるに今や英國は日本に讓歩し天津協定の成立を見たり。最近日本は又九龍附近に軍隊を上陸せしめ香

港を威嚇し更に佛國を強迫して滇越鐵道を封鎖せしめたり。仄聞するところに據れば敵は目下既に海陸空軍を海南島に集中し安南攻略の準備中なりと謂はれ、此等は皆歐洲政局の變化に因り生じたる新事態にして敵は如何なる口實を以て佛印を侵略せんとするや？佛印の新事態及將來如何に關し吾人は次に討論せん。

我國の王外務部長は本月二十三日佛印國境の交通封鎖に關し宣言を發し最後に王部長は中國政府は深く日本が亞細亞及太平洋上の如何なる地區に於ても若し侵略行爲を行はんとせば其の方法の何に拘らず未完成なる中國征服を遂行す可き根本目的に隨はしむる爲の侵略手段なりと稱するは必然なり。最も顯著なるは日本の佛印侵略なり其の目的は佛印に非らずして佛印に據り中國攻撃を行はんとするものなり。故に日本が若し安南及其他の地方に武力侵略を行はば中國政府は其の生存を獨立維持を一貫せる反侵略主義の見地より日本に對處せざるを得ざるなり」と言明せるは實に正當なる理論なり。中國政府は日本の安南侵略の意圖を早くより看破し嚴密に警備を固めたり。故に若し敵軍が佛印より中國に侵入することも中國は大打撃を受くることなし。愛國國民衆は何等危懼の念を抱くことなく中國政府の嚴重なる佛印方面に對する防備の鞏固さを確信せられよ！第一に吾人は再び國防問題を分析研究するに當り獨伊に關して語らんとするものなり。

日本は獨伊に依存し太平洋に横行しつゝあるも中國の長期抗戰に因り他を顧みる餘裕無く且獨伊も既に日本を度外視し太平洋上に問題發生することも獨伊に直接影響なき爲獨伊は日本に興味を感じず日本にして佛印侵略を行はば獨伊は必ず不満を感じ且つ感情破裂の可能性あり。

第二に英國は極東方面に於て日本に讓歩し時局の安定を策せるも但し英國の極東政策は不變にして日本に對する讓歩にも又限度あり。若し日本が佛印に侵入せば香港は脅威を蒙り且つ英國の太平洋より印度洋に至る間の重要地區が脅威を受くるに至らば大英帝國の極東に於ける利益は悉く剝奪せらるゝ虞あり。

故に英國は極東方面に於て或程度の忍容を行ふも徹底的犠牲を拂ふは忍び得ざるどころにして若し日本が佛印に侵入せば必ず英國と直接に摩擦を生ずるに至り日英衝突の可能性あり。

第三には米國の歐洲大戰により其の極東に對する注意力を多少轉換せられたりと雖も其の實ルーズベルト大統領及米國各政界人士の注意力は依然極東の大勢に注がれ米國の最近政策に依れば如實に之れを證明し得るなり。

(1)米國は武力を以て英國に協力す可く米洲内の佛國屬領は其の國家に讓渡さるゝを許さずと宣言せり。

(2)米國は太平洋上に大艦隊を擁し秘密裡に日本の行動を監視し米國陸軍部長は「日本の佛印侵略はヒ島、香港を脅威するものなれば坐視する能はず」と言明せり。

外國宣傳情報第四號

内閣情報部七・三（延着）

湖南・貴州兩電臺北京語時事解説（六月二十七日）（支那派遣軍報道部報告）

◎日本は如何にして南進するや？

聽衆諸君！吾人は敵が南進と北進を以て敵國の二大政策となせるを知るなり。其の北進政策は又大陸政策と謂ひ其の目的の最も重要なるは亞細亞全洲制覇に在り次で南進政策は又大洋政策とも稱し南太平洋各地進攻を目的とせり。

一八七八年明治時代の初期敵の大陸政策遂行は比較的積極性を有せり。明治六年敵國は政府官吏を南洋に留學せしめ二年後に敵は中國の屬地臺灣の侵略を企圖し明治十三年に至り遂に琉球侵略を實行し憲法を實施せり。之れ即ち敵國南進第一歩の成功なり。一八九〇年中日戦争停止に際し敵は戦勝の餘威を馳つて臺灣割讓を要求し敵の南進政策の第二歩は又も成功せり。

大正三年即ち一九一四年歐洲大戰勃發に際し敵は好機逸す可からずと對獨宣戰布告を行ふと共に南洋を占領し赤道以北の獨逸領土を悉く奪取し且つ英佛の極東に於ける權益掠奪を企圖せり。

巴里平和會議に次いで國際聯盟成立し赤道以北の獨領島嶼は日本に統治を委託せられたり。